

ふくしま 市議会

だより



天正寺(立子山) 朝河貫一博士4歳時の落書き



朝河貫一博士

幼少期から青年期まで現在の福島市立子山で過ごし、その後、アメリカのイエール大学で日本人初の外国における大学教授を務めた世界的歴史学者。

立子山の天正寺には4歳のときに描いた走る馬の絵が残されています。

肖像写真
福島県立図書館所蔵



市政を問う！

一般質問Q&A

行財政



令和6年度予算編成
尾形 武



Q 予算編成の基本方針と諸課題は

A 物価高騰の影響の長期化により、非常に厳しい財政運営が予見される状況下でも、県都として復興・創生を牽引し、新たなステージに向けて着実に前進することを基本とし、新型コロナウイルスや物価高騰などの影響を受け疲弊した地域の回復を図るための取り組みを推進していく。

令和6年度から5年間の中期財政収支では、大型事業の本格化などにより毎年財源不足が見込まれる厳しい見通しとなったが、喫緊の課題である人口減少・少子高齢化対策に留意の上、子育て・教育環境の充実や産業振興、デジタル化やゼロカーボン、共生社会の推進などの諸課題に対する取り組みを強化していくことが必要となる。

このため、事業の適正な取捨選択・重点化や業務改革・効率化を徹底し、より一層財源確保の工夫を図るなど、健全な財政運営に配慮しながら、人や投資を呼び込む攻めの施策を展開し、持続可能な財政運営を実現できる予算を編成していく。

その他の主な質問

- 松川地区の市街化区域の拡大
- 蓬萊団地くるくるバスへの支援
- デジタルクーポンを利用できない方へのフォローアップ支援



平和の問題
山田 裕



Q 世界連邦宣言自治体全国協議会の書簡「イスラエルとハマス、即時停戦」の呼びかけに対する本市の見解は

A 平和宣言をしている本市として、これ以上貴い人命が奪われないためにも、世界連邦宣言自治体全国協議会が発した、即刻の戦闘停止を望む書簡にあるように、武力によらず対話による平和的な解決が一刻も早く図られることを願っている。

その他の主な質問

- コストカット型経済の弊害
- 動物保護団体への財政的支援
- 川寒橋側道橋の西側増設



フーポンを含めた
本市のデジタル化
佐原 真紀



Q 行政のデジタル化について、力を入れて取り組むべき課題は

A 不慣れな方々でもデジタル化の恩

恵を享受できるようにすることが最大の課題であり、コロナ禍においてデジタル化浸透の必要性を痛感した。

高齢者の足や負担、中小企業の人手不足を考慮すると、行かない、書かない窓口を進めることも重要であり、高齢者にもやさしいデジタル化を理念とした取り組みを進めてきた。

しかし、急速なデジタル化についていけないと感じる方がいるのも事実であることから、追加物価高騰対策では値引き型クーポンを併用したクーポン事業を検討している。デジタルを利用できない方への対応にも配慮しつつ、苦手な方でもデジタルに取り組みもうとする仕掛けとサポートを講じ、市民共創で高齢者にもやさしいデジタル化を浸透させていく。

その他の主な質問

- 病児・病後児保育施設の拡充
- プラスチック製容器削減の課題
- 公立夜間中学生徒へのタブレット配布

産業・経済



食料安全保障の
ための予算措置
佐々木 優



Q 農業者を支えるために生産費と販売額のギャップを埋める所得補償、価格保証制度の抜本的な拡充を国に求めるべきでは

A 農業資材をはじめエネルギー価格や人件費といった農産物の生産コストが高止まりし、コスト上昇分を農産物

価格に反映できないなど厳しい営農環境が続いている。

このため、青色申告が加入条件の一つである収入保険などの補償制度に対して、全ての農家が加入できるように加入要件の見直しを含めた緩和措置など、実情に即した支援制度を構築するよう東北市長会を通して国に要望している。

その他の主な質問

- 全国学力テスト悉皆調査による過度に競争的な教育システム
- 新学校給食センターの整備・開設見直し
- 小中学校トイレへの生理用品設置

環境・いみ



ノーモア
メガソーラー宣言
菅原 美智子



Q ノーモアメガソーラー宣言後の市民からの問い合わせと効果は

A 宣言が広く報道されたことにより、多くの方から問い合わせや意見をいただいた。環境保全や景観への配慮を求める声など、本宣言に対し肯定的な意見が多く、ふるさとの景観を次世代へ守り継ぐといった本市の考えを内外に発信できたものと認識している。

また、本宣言に基づき、事業化の入りの段階である計画相談の時点より、庁内の各担当部局が連携し、市としてより組織的に一体的な対応を行っている。さらに、本宣言に対する市民の関心も高まっていることから、市と市民との連携が図られ、山地への大規模太

陽光発電施設の設置に対する抑止効果があるものと捉えている。

その他の主な質問

- 古閑裕而記念館で歌唱するためには
- 古閑裕而のまち・ふくしまとして
- 避難行動を促す広報

福祉・健康

休日当番医の

あり方

石山 波恵



Q 現在の患者受け入れ体制は

A 本市の休日当番医は、現在、内科、小児科、外科・整形外科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科の全7科目で開設している。

協力医療機関は、令和5年11月末現在、7科目合計で166施設となっている。

診療科目ごとに当番制を敷いており、内科、小児科、外科・整形外科は毎週日曜日のほか祝日、年末年始に開設し、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科は毎週または隔週の日曜日みの開設となっており、受付時間は、全科目とも午前9時から午後4時30分までとなっている。

その他の主な質問

- 女性活躍推進のための民間企業への取り組み
- イトーヨーカドー跡地の利活用
- 福島駅東口再開発事業



新型コロナ対策で
得た知見の活用
佐藤 勢



Q 新たな感染症が流行した際、新型コロナで得た知見をどう活用していくのか

A 新型コロナウイルス感染症の流行は、保健所を設置して初めて対処する大規模な健康危機事案であり、さまざまな教訓や課題があった。

その中でも、保健所機能への全庁応援体制の構築のほか、担当部署とのスムーズな業務連携など、中核市保健所ならではの強みを生かした取り組みが実現でき、感染拡大の抑制や医療崩壊の回避に一定の効果があった。

新型コロナウイルス対策では、感染症法が改正され、保健所設置市には感染症予防計画の策定が義務付けられ、感染症対策の一層の充実を図ることになる。

現在、3月の公表に向けて、(仮称)福島市感染症予防計画の策定を進めており、本市が取り組んできた新型コロナウイルス対策を取りまとめており、それとこの間積み上げてきた知見として継承し、新たな感染症危機に備えていく。

その他の主な質問

- 観光客入り込み数増加への取り組みと課題
- 介護人材確保のための新規就労支援制度の創設
- 外国人の移住定住のための取り組み

まちづくり

路線バス事業の
維持・継続政策

羽田 房男



Q バス事業者との2024年問題に関する協議、連携は

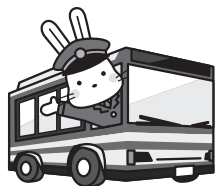
A 市内バス事業者は、働き方改革に伴い運転者の勤務時間を見直す必要があることから、現在、運行ダイヤの調整などについて検討している状況にあるが、廃止の検討対象となっている路線はない。

課題となる担い手不足解消に向けた乗務員の確保については、今年度、県バス協会が合同就職説明会を開催したほか、事業者においても積極的に乗務員の確保に取り組んでおり、今後、市としても協力していきたい。

また、運行管理のデジタル化や自動運転技術の導入により運行の効率化が図られることが期待されることから、官民連携でDX化にも取り組んでいく。

その他の主な質問

- 市営住宅の駐車場整備
- 震災・復興の伝承教育
- メロディーバスの増車



風格ある県都を目指す
まちづくり構想
齋藤 正臣



Q 中心市街地における将来ビジョン・公共施設の戦略的再編整備の青写真は

A 市長就任からすぐに風格ある県都を目指すまちづくり構想の策定に着手し、通常、全体的な構想策定には2年かかるところ半年で策定した。一方で、駅東西一体的なまちづくりの検討が必要な状況になっており、東口再開発事業との機能分担を図りながら、西口にどのような拠点を形成していくかが重要になる。

その場合、民間と連携して、一定の商業機能などと公共施設を組み合わせた複合施設にする案が考えられ図書館も選択肢の一つであり、様々な案がある。東西一体的なまちづくりには、東西の連結機能の強化が不可欠であり、東西自由通路とそれぞれの施設との間のペDESTリアンデッキを前倒しして、計画に組み込むことも検討しなければならぬ。

市としては、改めて東口再開発事業などの状況を整理したうえで、議会や市民の意見も伺い、市の将来にわたる活性化につながるよう、東西一体的なまちづくりについて議論し検討していく。

その他の主な質問

- 第一・第四・清明小学校再編
- 賑わい創出重視型の市立図書館再整備
- 福島駅東口再開発事業の見直し



**福島駅西側の商業
施設などの導線**
三浦 由美子



Q 福島駅西口から商圈として成り立っている地域へ循環バスを運行させるべきでは

A 福島駅西側のバス運行については、今後、需要把握や社会実験実施の必要性を路線バス事業者と協議し、買物などの日常生活に支障をきたさないよう、地域の足の確保を検討していく。

その他の主な質問

- デジタルクーポンの評価
- 介護サービス実績の集約・教訓化
- 小規模修繕契約の上限額



**福島駅東口
再開発事業**
高木 直人



Q 建築資材の高騰や労務単価の上昇に伴い、工期の遅れや計画の見直しがありうるのか

A これまで工事費縮減のため、再開発組合とともに使用資材の変更や施設計画の再調整を行ってきたが、工事費高騰の影響を抑えるまでの効果が得られず、テナントとの交渉も難航して、着工までの見通しが描けない状況が続いている。

駅前集客交流と賑わいの拠点をつ

くるコンセプトは変わらないが、再開発事業全体を成立させるためには、補助金など財源確保に向けた調整に加え、市のコンベンション施設も含め、踏み込んだ見直しを行うことも視野に検討しなくてはならないと考えている。

その他の主な質問

- イトーヨーカドー福島店の跡地利用
- 郵便投票などの条件緩和、手続きの簡素化とインターネット投票
- 市が管理する駐輪場の防犯対策



**高齢者の
移動手段支援**
村山 国子



Q 高齢者の命と暮らしを支援するために、高年齢者移動パスポートの無料継続は不可欠では

A ももりんシルバーパスポート事業は全国的に見ても手厚い高齢者の移動支援策である。一方、公共交通空白地域などでは利用しづらいなどの現行制度の課題を踏まえ見直しを検討している。市民委員からなる超高齢社会における地域公共交通を考える会を設置し、市民目線での意見交換もスタートした。利用しやすく持続可能な制度へ見直しを進めていく。

その他の主な質問

- タクシー利用に対する補助制度
- デジタルクーポン事業の現金給付
- 市専門職の正規職員化

教育



**公立夜間中学の
開設**
大平 洋人



Q 準備状況と残された課題は

A これまで入学希望者の募集・面接カリキュラム編成、教育環境の整備など、開校に向けた準備を進めてきた。

ソフト面では、専門的な高い指導力を有する教員を集めて教育課程編成委員会を組織し、各教科のカリキュラムの作成を進めてきた。教職員の配置も、県と連携して教員の公募制度を活用し、夜間中学での指導を希望する高い志をもった教員を県内全域から募り、指導体制の充実を図っていく。

ハード面では、設置場所である市総合教育センターの改修、ネットワーク環境や教材・教具の整備などを進めている。

残された課題は、個人面接を通して明らかにしてきた入学希望者の個別のニーズを踏まえた学習指導のあり方と自己の生き方を探究する学習活動の充実が挙げられる。このため、習熟度に応じた指導のあり方をさらに研究し、キャリア教育の視点を重視した多様な学びの場を引き続き検討していく。

その他の主な質問

- 休日の中学校運動部活動の地域移行
- 吾妻五葉松PR事業
- 農業従事者への支援策



**不登校の子どもたち
への支援**
丹治 誠



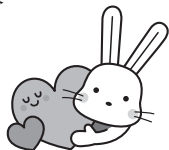
Q 今後、中央地区小学校再編の検討を進める中で支援策としてどのような内容が想定されるのか

A 増え続ける不登校児童生徒の学びの場を市内全域から通いやすい中央地区に整備することは大変有効であると考えている。その中で想定される内容として、総合教育センターに設置している適応指導教室の機能強化、いわゆる不登校特例校の設置、夜間中学での不登校生徒の受け入れなどが挙げられる。新たに設置する検討会において、不登校児童生徒への具体的な支援のあり方について議論していく。

その他の主な質問

- 医療的ケア児への在宅レスパイト事業※の推進
- 市広報での音声コード導入
- 医療的ケア児等コードリーダー間の連携

※在宅で医療的ケアを必要とする障がい児などを介護している家族などの負担軽減を図るため、訪問看護師が自宅に出向き、家族などが行っている医療的ケアを一定時間代替する事業。



※各常任委員会に付託された議案審査のなかからピックアップして内容を紹介します。

総務

◆清水支所建設事業

令和5年10月25日に新支所の建築工事が完了したことから、現支所の建物を解体するための工事費4,500万円を計上するもの。

新支所は、敷地の外構工事終了後、2月26日に開所を予定している。現支所の解体工事は、4月の窓口繁忙期が落ち着いた後、速やかに工事に着手し、8月上旬までの工期を予定している。

現支所解体後は、駐車場として整備予定。

(主な質疑と答弁)

問：解体工事中における駐車場確保と新支所への安全な進入路確保は。

答：現在の駐車場は50台程度となっているが、同程度の台数を確保する予定。また、進入路については、警備員を配置するとともに十分な安全対策を講じていく。

文教福祉

◆小児科の新規開業支援制度の創設

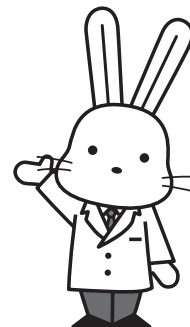
小児科医の減少・高齢化が進んでいることから、子どもの医療体制を確保するため、休日当番医や夜間急病診療所の小児科診療への協力を要件とした小児科の新規開業支援制度を創設。

(主な質疑と答弁)

問：小児科と内科を併設するような場合は開業支援制度の対象になるか。

答：小児科を標榜する医療機関が対象となる。

例えば、小児科として子どもを診る前提で、内科の診療も行うような医療機関も対象となる。



経済民生

◆四季の里将来構想の検討

四季の里のリニューアルに向け、来園者の減少やテナント撤退への抜本的な対応が必要となっていることから、来園者のニーズや周辺施設との連携可能性などの現状分析を行い、園内テナント施設の利活用や民間活力導入に向けた調査検討を行う。

(主な質疑と答弁)

問：調査検討の主な内容は。

答：園内、周辺施設を含めた現状分析を行い、新しい四季の里のコンセプトを設定し、それを実現するための基本方針の取りまとめを行う。

さらに、集客、経営の調査や施設の長寿命化に向けた整備計画、民間活力の導入などに向けた調査検討を行う。

建設水道

◆財産取得の件

(ふくしま☆スタイル住宅整備・建物等管理事業)

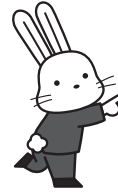
民間賃貸住宅のノウハウを生かすため、設計・施工・建物管理まで含めた公募型プロポーザルDBO方式(買取型)を採用し、市営住宅として使用する建物を取得する。

(主な質疑と答弁)

問：新しいスタイルの市営住宅ということで人気が出ると思われるが、募集方法と入居資格は。

答：募集方法は公募とし、応募多数の場合は抽選によって決定する。主な入居資格は、新婚世帯は結婚してから3年以内かつ夫婦の年齢が共に39歳以下の方、子育て世帯は小学校修了前の子どもを扶養する方、高齢者世帯は通常の市営住宅などと同様、規定の収入基準内である満60歳以上の方となる。

～議案等の審議結果～



各議案の概要や資料は
こちらからご覧ください。



12月定例会議

〔市長提出議案〕

区分	件名	結果
5年度補正予算	一般会計、水道事業会計、国民健康保険事業費特別会計、介護保険事業費特別会計、下水道事業会計、飯坂町財産区特別会計、公設地方卸売市場事業費特別会計、後期高齢者医療事業費特別会計	○
条例改正	支所設置条例	○
	印鑑の登録及び証明に関する条例	
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	
	国民健康保険税条例	
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
	議会議員の議員報酬等に関する条例	
	市長等の給与に関する条例	
	職員の給与に関する条例等	
人事	手数料条例	○
	教育委員会委員任命	
	公平委員会委員選任	
工事請負契約	財産区管理委員選任	○
	第2期福島おおぞらインター工業団地造成工事	
財産取得	杉妻小学校南校舎外壁等改修工事	○
	市営住宅用建物	
指定管理者指定	市民活動サポートセンター、身体障がい者福祉センター腰の浜会館、飯野地域福祉センターほか、中央デイサービスセンター、南沢又デイサービスセンター、春日町デイサービスセンター、蓬萊児童センター、清水児童センター、渡利児童センターほか、立子山自然の家、こむこむ館、職業訓練技能センター、福島テルサ、サンライフ福島、東部勤労者研修センター、西部勤労者研修センター、産業交流プラザ、アクティブシニアセンター、飯坂温泉観光会館ほか、浄土平天文台、つちゆロードパーク、あったか湯、土湯温泉まちおこしセンターほか、UFO ふれあい館ほか、四季の里、水林自然林、旧佐久間邸、音楽堂ほか、草心苑、民家園、国体記念体育館ほか、クレー射撃場、ヘルシーランド福島、御倉町地区公園旧日本銀行福島支店長役宅	○
その他	民事調停申立て	○
	損害賠償の額の決定並びに和解	
	字の区域の変更	

〔委員会、議員提出議案〕

区分	件名	結果
意見書	医療・介護従事者の人材確保・育成と処遇改善及び医療機関・介護施設への物価高騰支援施策拡充を求める意見書	○
決議	パレスチナのガザ地区での即時停戦及びそれぞれの人質の即時解放等による平和的解決を求める決議	○

〔陳情〕

区分	件名	結果
陳情	すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書提出方について	○
	健康保険証廃止の中止を求める意見書提出方について	×
	ふくしまスカイパーク指定管理者の選定に関する事について	×
	地元公共交通福島交通市内路線バスと飯坂電車の維持存続・多くの人々が負担なく利用でき福島の街と人の活性化する取組みに関する事について	×
	福島市公立夜間中学に小学校の指導用教科書を配備するよう求める事について	×
	福島市公立夜間中学に中学校の指導用教科書を配備するよう求める事について	×
	福島市農道離着場の所管替えに関する事について	×
	住民税非課税世帯に支給される給付金7万円に6千円の上乗せを求める事について	×
	物価高騰対策給付金の支給に関する事について	×

議会基本条例の取組状況を検証しました

福島市議会では平成26年4月に議会基本条例を施行し、その目的を達成するため、さまざまな取り組みを行い、その施行状況を毎年検証しています。

◆検証内容

基本条例の3つの基本方針

- ①市民に開かれた議会
- ②議員間の自由闊達な議論・討論を行う議会
- ③政策立案や政策提言を積極的に行う議会

に基づく取り組みを中心とした15項目を議会改革検討会において協議し、評価および今後の取り組み方針を決定しました。

今後も議会基本条例の基本理念のもと、議会のあり方や諸課題について検討し、市民の皆さまに分かりやすく開かれた議会を目指してまいります。

◆今後の取組方針（検証結果）

★市民に分かりやすい言葉・表現の方法を用いた議会運営、議案、委員会資料の公開、市民参加の推進など11項目（A評価）

→今後も継続して取り組むべき

★議案などに対する議員個人の賛否の公表、積極的な政策立案など4項目（B評価）

→賛否の公表は、新議場開設後の採決システムによる公表について検討を継続すべき

→政策立案の実施に向けてさらに先進事例等の研究、検討を進めるべき

◆その他見直しが必要と認められるもの

★全員協議会については重要案件であり、多くの市民にとって関心のある内容であるため、会議録の公開に向けた検討を行うべき。

詳しい内容はこちらからご覧ください。



常任委員会の新たな所管事務調査がスタートしました

市議会では、各常任委員会が所管する市の事務に関する調査を行い、その調査結果に基づき市長などに対し、政策立案と政策提言を積極的に行っております。

このたび、各常任委員会で新たなテーマを決定し調査を開始しました。

総務

◆テーマ：生成AIが与える行政運営への影響に関する調査

◆目的：将来を見据えた効率的かつ効果的な行政運営に資するため、生成AIが与える行政運営への影響について効果や課題などに関する調査を行う。



文教福祉

◆テーマ：認知症対策と家族支援に関する調査

◆目的：誰もが認知症、家族介護者となりうる超高齢社会において、認知症患者と家族が地域で末永く生活できるようにするための必要な支援に関する調査を行う。

経済民生

◆テーマ：持続可能な農業の振興に関する調査

◆目的：農業の担い手不足に歯止めをかけるため、効率化、所得の向上と経営の安定化など、安心して農業に従事できるよう、持続可能な農業の振興に関する調査を行う。

建設水道

◆テーマ：市営住宅の今後のあり方に関する調査

◆目的：様々な社会の変容に対応した持続可能な市営住宅整備の実現に向け、市営住宅の現状や課題を把握し、今後のあり方に関する調査を行う。

議会報告会・意見交換会を開催しました

令和5年11月6日から15日にかけて議会報告会・意見交換会を開催しました。

今回は吉井田、松川の各支所での開催に加えて、これまで参加者が少なかった青年層である大学生と女性団体の皆さんとテーマを設定しての意見交換会を初めて実施しました。



福大Voteプロジェクトの皆さんとの意見交換会の様子

大学生との意見交換では、福島大学の学生団体である福大Voteプロジェクトの皆さんと「これからを支える若者の定着」をテーマに意見交換を行いました。

大学生からは、

「車がなく大学周辺で生活するには不便である」

「市が発信している情報が大学生には届いていない」

などの現状について意見がありました。

また、女性団体との意見交換では、ふくしま市女性団体連絡協議会の皆さんと「パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度」、「女性の抱える課題」について意見交換を行いました。

参加した方からは、「遠い存在だと思っていた議会を身近に感じ、理解が深まった」などの感想をいただきました。



ふくしま市女性団体連絡協議会の皆さんとの意見交換会の様子

議員定数に関する調査特別委員会を設置しました

令和5年12月15日の本会議で、新たに議員定数に関する調査特別委員会が設置されました。所管事項、委員構成は以下のとおりです。

所管事項

○本市議会議員定数のあり方に関する調査の件

委員構成

委員長 半沢 正典 副委員長 斎藤 正臣
 委員 高木 直人 浦野洋太郎 佐藤 勢 山田 裕 遠藤 幸一
 根本 雅昭 川又 康彦 羽田 房男 黒沢 仁

3月定例会議開催予定(3月1日～3月26日)

日	月	火	水	木	金	土
						1 2
					本会議 (開会)	
3	4	5	6	7	8	9
				本会議(代表質問)		
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 (代表・一般)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	常任委員会 予算特別委員会	常任委員会 予算特別委員会(分科会)	
17	18	19	20	21	22	23
	常任委員会 予算特別委員会(分科会)	(春分の日)	常任委員会 予算特別委員会(分科会)	常任委員会 予算特別委員会 (全体会)		
24	25	26	27	28	29	30
		本会議 (採決等)				

- ◆本会議、委員会ともどなたでも傍聴いただけます。委員会の傍聴など詳しくはホームページをご覧ください。
- ◆3月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは、3月4日(月)午前11時です。

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960-8601 福島市五老内町3番1号
 電話 024-525-3776
 FAX 024-534-2520
 福島市議会 広報委員会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>

発行：福島市議会
 編集：広報委員会



前回第219号の表紙 令和2年度市民カメラマンのお名前の表記に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。
 誤：「有住 武弘氏」 正：「有住 武洋氏」